

「ないものねだりより あるもの探し」

— 水俣の取り組みの特徴についてご紹介します。 —

1. 「なにもない」を言わずに、あるものをみんなで調べる。
2. お金をかけないで、手間ヒマをかける。
3. 過去に学び、変化を適正に受け止める。
4. 循環する自然の仕組みを学ぶ。
5. 女性の力を最大限生かす取り組みを。



▲「住民が地域おこしができるように」と話す吉本さん(写真右)と天野さん(写真左)

逆境の中で笑いを 村復興 水俣に学ぶ

村健康福祉課は11月28日、村役場飯野出張所において、熊本県水俣市で地元学を進める吉本哲郎さんと、同市でお茶の製造販売をしている天野浩さんを講師に招き、「第3回いいたて村と生きるまでいなりレトリート」を開催しました。

元水俣市役所職員だった吉本さんは、水俣病の発覚後からこれまでの取り組みを中心に講演を行いました。

講演会では、参加者から村復興への質問が多くあり、吉本さんは答えの中で「どんなにひどい状況の中にあっても、笑顔には解決する力がある。どうか笑ってください」と語りました。

次回の、「いいたて村と生きるまでいなりレトリート」は2月を予定しています。詳細については村健康福祉課までお問い合わせください。

☎ 024-572-6214

飯館村の保護者が安心した子育てをするために ～ いいたて子育て支援センターすくすく 開所 ～



▲木のぬくもりを感じられる室内には、絵本や木のボールプールなど楽しい遊具がたくさん♪

子育てパパ・ママを応援

12月18日、避難先での子育てを支援するために「いいたて子育て支援センターすくすく」が福島市大森に開所し、オープニングイベントが行われました。

全村避難により、これまで村で共に子育てをしていた保護者同士の間が離れてしまっていました。今後は、親子が気軽に集い、交流できる拠点としてご利用いただけます。

いいたて子育て支援センターすくすく どんなところ？

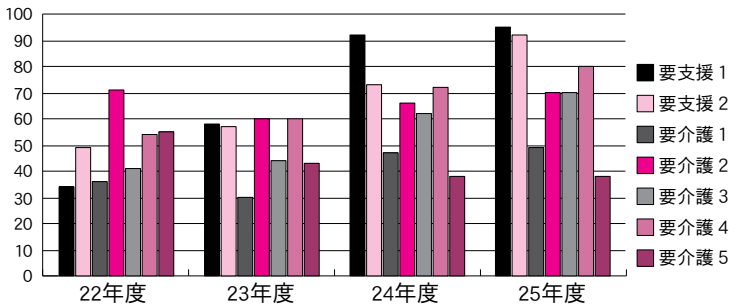
- ♪ 0歳から就学前の親子が、自由に安心して過ごせる施設。乳幼児健診も行われます。
- ♪ 保護者同士の交流や情報交換ができます。
- ♪ 子育て講習会や「ひろば」で友達や保育士と一緒に遊べます。



知っていますか？ 介護保険制度 第2回

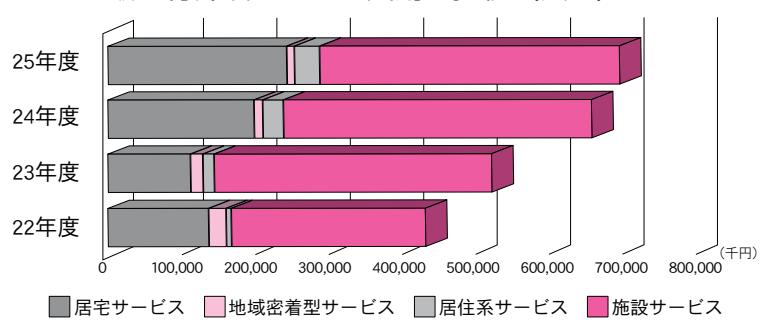
村では、平成24年度から要支援1、2の認定が急激に増加、要介護2、5を除き、各レベルの認定者数が年々増えている状況。避難による世帯分離、高齢者の避難生活の厳しさが反映された結果となっています。(表1)

飯館村要支援・要介護認定者数の推移 (表1)



また、全村避難後は施設サービス費、居宅サービス費が大幅に伸びています。施設入所が増加し、入所できない方や高齢者のみ世帯の方が居宅サービスを利用していると考えられます。(表2)

飯館村介護サービス費用の推移 (表2)



今回は、平成27年度に予定されている介護保険制度の改正内容についてお知らせします。

アクセス
あづま脳神経外科病院の西側駐車場の南側、みどりの屋根の木造建物です。

すくすくの利用について

開所日・時間 平日9:00～16:00

9:00～ 開館 自由に遊べます
10:30～ 保育士と遊ぼう
歌、手遊び、リズム遊びなど
11:30～ お片づけ

※出入り自由ですので、お子さんのようすに合わせてご利用ください。

イベント予定、詳しい利用については「いいたて子育て支援センターすくすく」までお問い合わせください。

☎ 024-572-6500 福島市大森字柳下25-1